

秋川ファーマーズセンターの管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮 8 1 1 番地
	所管課	環境経済部農林課農政係（内線） 2 5 2 1
指定管理者	名 称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目 1 番地 1
	業務内容	①市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 ②農畜産物等の販売促進に関する業務 ③農畜産物等の計画的生産に関する業務 ④地域産業との相互協力による販売業務 ⑤農業従事者の相談に関する業務 ⑥市民農園の管理に関する業務 ⑦センターの維持管理に関する業務 ⑧その他市長が必要と認める業務
ホームページ URL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指 定 期 間		平成 2 3 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
来客者数（人）	348,649	354,407	361,298	341,746	340,489
前年度比（人）	△3,288	5,758	6,891	△19,552	△1,257
前年度比（%）	99.1	101.7	101.9	94.6	99.6
売上合計（千円）	534,369	556,384	563,189	521,334	512,349
前年度比（千円）	△4,255	22,015	6,805	△41,855	△8,985
前年度比（%）	99.2	104.1	101.2	92.6	98.3

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
収 入	直売売上げ	321,807	339,222	330,832	295,566	289,070
	その他売上げ	207,281	211,708	227,053	220,477	218,151
	その他の収入	5,281	5,454	5,304	5,291	5,128
	計	534,369	556,384	563,189	521,334	512,349
支 出	事業直接経費	471,519	491,910	499,220	462,318	453,638
	管理費	54,294	57,293	56,403	54,536	51,879
	その他	3,016	2,013	2,017	2,017	2,011
	計	528,829	551,216	557,640	518,871	507,528
収支合計		5,540	5,168	5,549	2,463	4,821

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
購入品の不良に対する苦情	- 品物を交換する。 - 苦情の内容を生産者へ連絡する。 - 生産者が利用者へ説明をする。
午後になると品薄になる	冬季などが特に顕著であり、施設栽培を導入するなどの工夫をする。
外国産の品物が置かれている	端境期など、品薄になる時期にある程度の品揃えをすることも必要であり、野菜類については市内産がどうしてもない場合は、東京産、次に国産の順位で仕入れることはやむをえない。また果物については国産にない物であれば外国産もやむをえない。ただし、産地表示をきちんと行うものとする。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	アンケート用紙を置き、回収箱に投函してもらう形で、意見や満足度等の把握に努めている。
調査結果	内容は、品質や品薄に対する苦情・要望、またはレジの対応や生産者による丁寧な説明を受け好印象であった等、様々な意見が投函されている。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
旬の野菜レシピを作成している。市健康課の栄養士と連携したレシピの配布を開始する。	売上の向上に結びついている。 生産者と消費者の交流のきっかけとなっている。 地産地消の推進につながっている。
ダンボールを再利用し、運搬用に提供している。	資源のリサイクル、レジ袋の削減につながっている。
今後の課題 買い物袋の持参を呼びかける。	レジ袋の削減により、ゴミの削減や資源保護につながる「環境にやさしいライフスタイル」の方向性を示すことができる。

7 総合評価

指定管理者の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価)

- ・ 生産者（会員）の増員を図る。後継者や担い手不足への対応
- ・ 「新鮮・安心・安全」な農畜産物の提供とあわせ、加工品など、付加価値の高い商品を増やし、集客力の向上と売上げの増加を図る。
- ・ 建物・設備の老朽化が進み、近年は修繕に要する経費が増加している。建替えについて研究を引き続き行う必要がある。

設置者（所管課）の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価)

当該施設については、平成5年のオープン当初から秋川農協が管理運営している。売上げについては、震災による計画停電の影響や、気候状況などにより、2年続けて減少している状況である。

農畜産物の品質の向上や来客者対応については、農協のノウハウにより、適切に対応している。また、会員が生産していない農産物について、消費者からの要望に基づいて、産地からの仕入れを取り入れる等の集客策を講じ運営改善に取り組んでいるが、一部外国産のものが置かれることがあり、平成23年度には設置者を交えて仕入れ品の基準についての検討を行い、野菜類については市内産がどうしてもない場合は、東京産、次に国産の順位で仕入れること、果物については国産にない物であれば外国産もやむをえないこととした。

今後も、安心安全な農畜産物を安定供給するとともに、会員の確保及び指導・相談や消費者との交流を深めることで運営改善に積極的に取り組み、また地産地消を推進する拠点施設として、天候に左右されにくい施設栽培品や、農産加工品の販売なども導入し、あきる野農業の発展に取り組む必要があると思われる。